

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

阿漕浦で海浜清掃

— 海の日に合わせて県下一斉海浜清掃 —

「海の日」に合わせて、「きれいな海」「豊かな海」を守るため、平成 8 年から県下一斉の海浜清掃が続いているが、今年も 19 日 (土)、津市の阿漕浦で漁業関係者や県市、一般のボランティア等約 350 人が参加し海浜清掃が行われた。

当日はあいにくの小雨模様となり、予定していた朝 7 時よりも前に清掃を開始した。浜辺では、家族で一緒に参加し親子で一所懸命大きなトタン板を運び出している姿も見られた。短い時間で切り上げることとなってしまったが、参加者は流着ゴミや吸殻、ペットボトル、空き缶などを拾い集め、よりきれいな浜となった。



小雨模様にも関わらず参加した皆さん、お疲れ様でした！

障害者も海の仕事へ

— 「水福連携」の取り組み —

働く場所が少ない障害者の収入を増やそうと、障害者の仕事を農業に見いだす「農福連携」は各地で進んでいるが、漁業では、海への転落等危険を伴う作業が多いことから、障害者の雇用はほとんど進んでいないのが現状だ。

そこで、高齢化が進む漁業や水産業の担い手確保にもつなげようと、三重県の若手職員が検討を進めた結果、網修繕など陸地での作業は可能であることが分かった。

志摩市社会福祉協議会では、地元栽培センターから網作りを請負ったり、アオサノリの養殖業者から支柱棒の清掃作業依頼も出てくるようになってきているという。県の担当者は「これまで障害者と漁業の接点がなかっただけで、探せば障害者ができる作業はある」と話している。

夏休み体験教室でアサリ実験

— 松阪漁協女性部 —

夏休み初日の 19～20 日の 2 日間、県総合博物館において小学生低学年を対象に県の農林水産業を学ぶ講座が開催された。

初日の 19 日（土）には松阪漁協女性部（部長 西 典子）がアサリの浄化実験を行い、黄色い海水にアサリを入れ、時間を置くと透明な水を変わっていく様子に、子供たちは驚きの声を上げていた。同行した母親からは「子供がすごく興味を持ったので参加してよかったです」と話していた。



海水がきれいに変化していく様子を子供たちは興味深く見ていた。



アサリ以外にもいろいろな貝があることをやさしく説明。

おさかな料理コンクールのご案内
三重県水産物消費拡大促進協議会

三重県産の魚を使った新しいメニューの開発とその普及を目指して、三重県水産物消費拡大促進協議会では、今年もおさかな料理コンクールを開催する。

新鮮な感性と豊かなアイデアを活か

した魚介藻類のオリジナルレシピや、様々な場面で楽しめるレシピの募集を待っている。対象は、料理の大好きな三重県在住の高校生以上の方としており、9月5日（金）を応募締切としている。

応募方法等詳しくは三重県漁連ホームページに掲載しているのでご覧ください。[\(http://www.miegyoren.or.jp/\)](http://www.miegyoren.or.jp/)

平成 26 年度第 1 四半期発動
セーフティーネット事業(漁業用燃油)

セーフティーネット事業の漁業用燃油について、平成 26 年度第 1 四半期（4～6 月）の補填が発動されています。

該当者につきましては 4～6 月に購入した燃油数量の報告を漁協を通じて漁連指導部までお忘れなくお願い致します。

○補填額 15,090 円/kℓ

○数量報告 8 月 11（月）までに漁連指導へ実績報告書を送付

【主な予定】

○7 月 26 日（土）
第 9 回海難遺児チャリティコンペ
マリンカップ（津）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。